

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年12月期（2023年2月発表分）

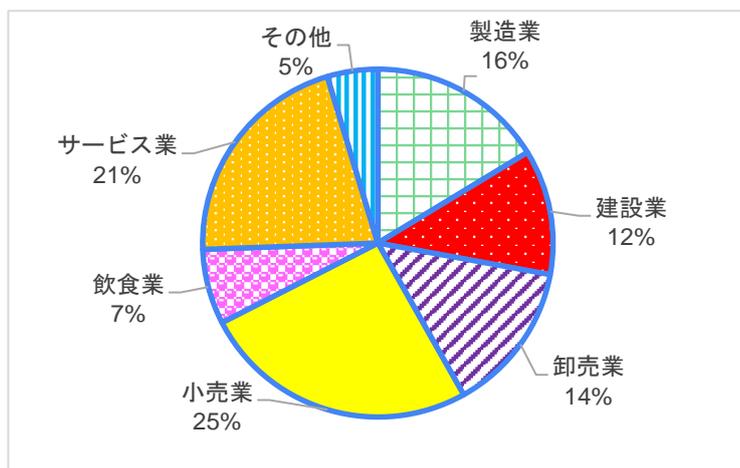
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は43名（回答率は64.2%）

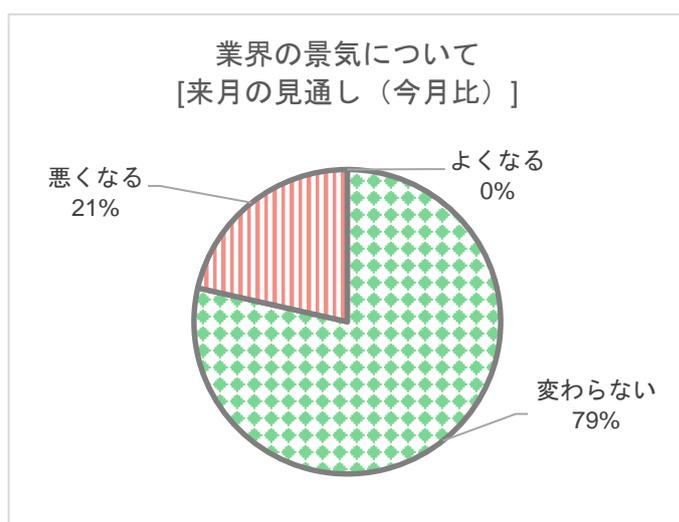
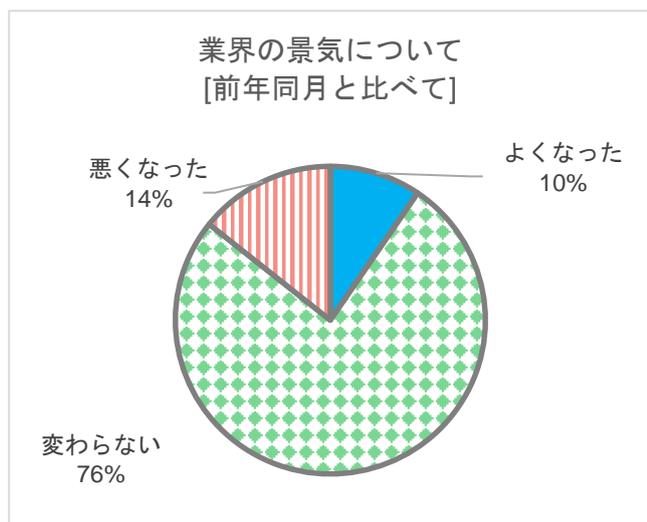
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.3%
建設業	5	11.6%
卸売業	6	14.0%
小売業	11	25.6%
飲食業	3	7.0%
サービス業	9	20.9%
その他	2	4.7%
計	43	100%



調査結果のポイント

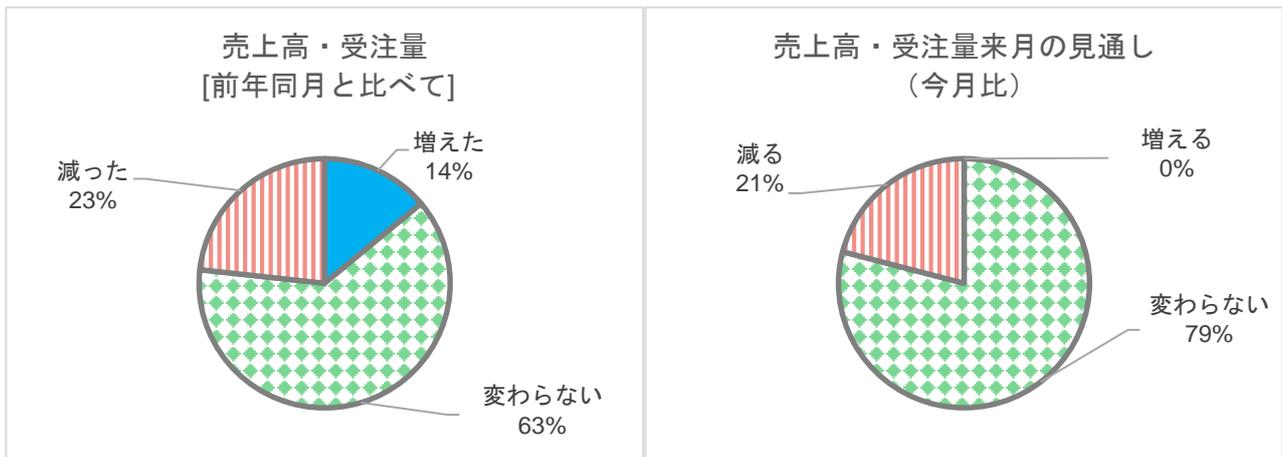
<景況>

- ・2022年12月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が9.3%、「変わらない」が76.7%、「悪くなった」が14.0%となりました。
- ・2023年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「よくなる」が0%、「変わらない」が79.1%、「悪くなる」が20.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年12月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」14.0%、「変わらない」が62.8%、「減った」が23.3%となりました。
- ・2023年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「増える」が0%、「変わらない」が79.1%、「減る」が20.9%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費が高騰している。 <木製家具(製)> ・地域の中小企業ではベースアップについての話が出ている。しかし政府からの要望は「〇%上げるように」といった割合での話であるため、総支給もしくは手取り額どちらに対しての話か分かりづらい。さらに、給料が多い従業員に対してはより多くの給料を支払うこととなるため、対応に苦慮している事業所が多い。 <物流運搬設備(製)> ・年末年始の休み明けで組合事業所でもコロナ感染者が増加している。 <事業協同組合(鉄)> ・亜鉛等の原材料が高くなっている。 <事業協同組合(鍍金)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の物価高騰により価格転嫁できるものと、できないものがある。また大河ドラマ「どうする家康」がスタートしたので、幟旗やポスターなどの掲出に協力する。 <電気配線工事業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・水産、海産物の原料の高騰による製品原価の上昇が激しくて販売価格への転嫁が追いつかない。地域は疲弊している雰囲気。 <乾物(卸)> ・2023年1月からの商品価格の高騰のため、12月の売上は増加した。 <鑄材(卸)> ・飲食店と主に取引しているが、コロナ禍の影響が薄らいで人の動きが戻りつつあるにもかかわらず、景気が悪くなっているのか、思いの外注文数が回復してきていない。 <農産物(卸・加工)> ・バター不足がまた始まる。また人手不足でパート・アルバイトが集まらず、作りきれないという理由で販売量を減らした事例が多かった。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車の納期遅れの中、新型車が発表されても受注開始直後から1年以上待ちになる。とても正常とは思えない。 <自動車(小・修)> ・新店舗が無い事はないが、中央に店が明らかに減っている。 <祭用品(小)> ・タイヤの価格改定が来年もあり、来年も大変そうだ。 <自動車タイヤ(小)> ・今年の年末商戦は、昨年に比べて厳しかった。家電商品は、故障しなければ買替れないという状態に入っている。来年は、小型の冷凍庫が売れるのではないかと予想。冷凍食品の売上がアップしているので、販売に期待。 <家庭電化製品(販)> ・年末にかけて青果物、果物の品薄、高騰が懸念される。 <事業協同組合(青果)> ・浜松の消費能力低下により、商品が集まらない。消費能力の高い他県に流れる。 <花・植木(小)> ・円高で推移していることは、ガス仕入価格の観点から見ると好材料である。 <燃料(小)>

飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・街中に人がいない。 <事業協同組合(飲食店)> ・10名程のご予約は、根こそぎキャンセルということは無いが、必ず数名ドタキャンがある。キャンセル料はいただきにくい。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・インボイス制度、電子帳簿保存法と業界を取り巻く法律が改正されている。これに伴い、消費税の免税事業者がインボイス発行事業者に登録すると、補助金等の交付が受けられる場合があるため、業務が多忙となることが予想される。 <税理士> ・警備業は、公共工事設計労務単価の中でも最低に近い単価設定。毎年の最低賃金上昇の影響は多少あるが、賃上げをしていない業者が多いのか、公共工事設計労務単価の上昇額は低い。 <警備業> ・コロナ特別貸付のゼロゼロ融資の返済開始が始まる企業が出てくる。政府では対策を検討しているが、まずは自社の現状把握(売上予測や返済原資の有無等)が必要。 <税理士> ・賃金アップに対しての対策を検討している。 <社会保険労務士> ・法務局の登記件数が減っている。 <司法書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・どうする家康を応援し、浜松を盛り上げようとする動きが各企業様に見られる。それに付随する業務が入ってきているので、今後に期待が持てそう。 <ディスプレイ業> ・新型コロナとインフルエンザのダブル流行を懸念している。 <同業団体(商業)>

■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナ感染が増えている中で以前ほどでは無いにしても景気にはいい影響はない。 <祭用品(小)>
- ・ウィズコロナも落ち着いてきた。ゼロ金利の返済がスタートし、今後を心配している経営者もいる。 <税理士>
- ・年明けから、コロナ陽性者および濃厚接触者が増え、自宅待機などで業務に影響が出始めている。 <機器工具(卸)>
- ・年末年始にかけて感染者が増え、社員も2名濃厚接触者に該当してしまった。 <ディスプレイ業>
- ・忘年会を行う事業所が増えた。企業は大騒ぎせず食事をしているのに対して、一般客は大騒ぎをしているためコロナに対する意識が薄れていると感じる。コロナに加えウクライナ問題、円安による物価高騰についても先行きが不透明であるため、過度な心配はせず、暗中模索状態でマネジメントをしている企業が多い。 <物流運搬設備(製)>
- ・新型コロナの行動規制は出ていないが、大会社がまだ、大きな宴会など許可していないところが多いので、飲食をはじめ、なかなか厳しいのが現状。 <同業団体(商業)>
- ・新型コロナで業務用の卸が減った。 <米穀類(小)>
- ・コロナの感染者数は増えているが、前ほどの影響は感じない。売上も少しずつ戻ってきているが、物価高騰や円高等コロナ以前に戻るにはまだかかる見込み。 <楽器(製)>

■物価高騰・円安の影響

- ・まだまだ菓子の材料、包材の高騰が止まらず、価格を消費者に転換しきれない。価格を上げて消費が冷え込むことが心配。 <菓子小売業(製・小)>
- ・依然として円安の影響がある。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)>
- ・ウッドショックによる木材の高騰は落ち着いてきたが、石膏ボードがこの2~3カ月の内に値上がりするなどの情報があり、建築資材全体の高騰はまだまだ続きそうだ。 <建築工事業>
- ・輸入原料の高騰の影響が大きく、メーカーから数回の値上げ要請がある。 <鑄材(卸)>
- ・販売価格を値上げして売上が減らないか不安。 <祭用品(小)>
- ・物価高騰・材料費の上昇に対して対応が遅れている。 <社会保険労務士>

- ・相変わらず物価高騰は止まらず、仕入れ額の増加が利益を圧迫している。高騰が収まっても、それが金額に反映してくるまでにはまだ時間がかかりそうで、非常に困る。 <楽器(製)>
- ・飲食は少し戻ってきたものの、安定感はなし。値上げにお客様がついてこられない感はいなめない。 <茶(加・小)>
- ・円安の影響が出始めている。輸入材の価格がコロナ初期よりも高騰している。 <木製品(製)>
- ・工事部材等の値上がりで、カタログと実際の価格で相違が見られ、見積書を作成する時に、注意が必要になってきた。 <家庭電化製品(販)>
- ・電気代、ガス代だけでなくすべての仕入れ経費が値上がりしており、利益を圧迫している。ゼロゼロ融資の解消が始まるのでさらに資金繰りが厳しくなりそう。 <事業協同組合(鉄)>
- ・電気料金やガス代特に都市ガスが高騰している。資材や部品も高騰しているため、1年位前から受注単価の見直しに努めているが、難航中。 <事業協同組合(ものづくり)>
- ・コロナと円安・物価高の影響を強く受けており、今後さらに冷え込むと予想している。 <農産物(卸・加工)>
- ・さらなる値上げが控えている。乳製品、卵、小麦粉、砂糖、化成品、次々に上がっている。需要がついてきてくれるのか、非常に心配。 <菓子材料(卸)>

■インボイス制度・電子帳簿保存法について

- ・元請会社から、インボイス制度・電子帳簿保存法の確認が増えてきた。 <警備業>
- ・10月からの施行に向けて、諸々の経過措置や納税額の軽減措置が発表されている。正確な情報収集と早めの対応が必要になっている。 <税理士>

■その他

- ・年金に関する問い合わせが増えている。特に国民年金の納付期間延長や受給開始年齢引き上げ等、決まってもいない事で老後の不安を感じているようだ。 <社会保険労務士>
- ・コロナや物価高騰の不安が続く中、インボイスなどの負担になる可能性もある新しい施策を進めるのが理解できない。増税論議もしかり。 <サッシ・ドア(製)>

以 上